

藤田医科大学病院

病院長名	白木 良一
所在地	〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98
交通案内	名鉄線名古屋駅より (22 分) 前後駅下車、名鉄バス (15 分) 「大学病院」下車 / 桜通線名古屋駅より (35 分) 徳重駅下車、 名古屋市営バス徳重 13 系統または名鉄バス (16 分) 「大学 病院」下車 / 鶴舞線伏見駅より (21 分) 原駅下車、名古屋市 営バス徳重 13 系統 (33 分) 「大学病院」 下車

□ 病院の特徴

当院は名古屋市に隣接しており、道路を渡ると名古屋市という好立地にあります。多種多様な疾患に対応しており、DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」で当院の DPC 件数が全国の大学病院の中で 2020 年度第 1 位、2021 年度第 2 位となりました。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

藤田医科大学病院 麻酔科専門医研修プログラム

【研修目標】

本研修プログラムでは、4 年間の専門研修により、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができる専攻医の教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。

【研修期間】

4 年

【研修スケジュール】

研修期間の4年間は、藤田医科大学病院での一貫した研修を中心とする。研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。麻酔および集中治療領域を回るローテーションを基本とするが、3年目以降については専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する。大学病院で経験できない症例も、週1回程度の連携施設における診療支援で各施設の特徴を活かした研修が経験できる。



□ 主な連携施設

一宮西病院、大垣市民病院、豊川市民病院、あいち小児保健医療総合センター、公立西知多総合病院、愛知県がんセンター、総合病院南生協病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、春日井市民病院

□ メッセージ

指導医 (役職名 教授 氏名 西田 修)

手術はいわば「予定された外傷」であり、その外科的侵襲から生体を防御するための行為が麻酔です。よって麻酔学とは生体防御の学問であり、麻酔行為自体も、血管確保、気道確保から始まり、体液・輸液管理、出血や心抑制などに対する大胆かつきめの細かい循環管理と患者の状態に合わせた人工呼吸管理など、ライフサポートのエッセンスに満ちています。我々の専門医プログラムでは、単に手術麻酔にとどまらず、麻酔を核とした全身管理を広く行い、集中治療を含めた領域で幅広く診療・教育・研究を行う付加価値の高いプロ集団としての麻酔科医の育成を目標としています。急変時の対応や、呼吸、循環、代謝、栄養管理の知識は集中治療医だけでなく全ての臨床医にと

って必須の知識であるため、後期研修医だけでなく初期研修医、医学生への教育にも重点を置いています。教育には時間と労力がかかりますが『教育こそ全て』の教室理念のもと、どんなに忙しいときも医局員全員で真剣に教育に取り組んでいます。



□ 募集要項

・採用予定人数	8人
・給与/月額	推定年収 1000~1300 万円(他施設分も含む)
・当直回数/月	4 回/月
・当直料/回	当直 12,000 円/回
・その他	カフェテリアプラン (選択型福利厚生制度) 2023 年度 55,000 円/年
・応募連絡先	担当者 栗山直英 電話番号 0562-93-9008 Eメール Kuriyama@fujita-hu.ac.jp

